

## 学校法人東京女子大学2012年度事業計画

### ・基本方針

本学は創立以来、建学の精神である「キリスト教を基盤としたリベラル・アーツ教育」を通して女子高等教育の発展に寄与してまいりました。近年では、国際化、多様化の進む社会に積極的に対応していける人材の育成に取り組んでいます。2012年度もこうした理念に基づく教育を着実に進めます。

学部については、全学共通カリキュラムの充実と学科カリキュラムの改革を進め、広い視野と深い見識を養うことにより、多様化・複雑化する社会への基礎対応力の涵養を図ります。

大学院については、2012年度において、人間科学研究科博士前期課程を開設します。同研究科博士後期課程と合わせ、人文科学、社会科学の両面から望ましい共生社会の実現に向けた研究体制が整えられることとなります。

施設面では、震災への対応として、2011年度までにすべての建物について耐震強度診断を行うとともに、必要な補強工事を完了させました。併せて、危機管理体制を見直し、非常時対応の明確化を図りました。2012年度は、さらなる防災機能の充実とエネルギー使用の効率化を進めます。先人の努力により、本学のキャンパスは豊かな自然環境に恵まれておりますが、今後とも環境・景観の保全に力を注ぎ、学生にとってより快適で学びの可能性を広げられ、地域の方々からも一層愛されるキャンパスとなるよう努力を続けます。

本学は2018年に創立100周年を迎えます。建学以来の歴史を大切にするとともに、これからの100年に向けて、更なる教育・研究の充実と施設の整備を進めます。また、今後の発展を支える財務基盤の強化と、変化する環境に迅速に対応できるマネジメント体制の確立を図ってまいります。

上記の方針のもと、2012年度は以下の6項目を重点施策として進めてまいります。

- 1) 学部改革の推進
- 2) 大学院人間科学研究科博士前期課程の開設
- 3) 中期キャンパス整備計画の実施
- 4) 創立100周年記念事業の検討
- 5) マネジメント体制の整備
- 6) 財務基盤の強化

## ・教育・研究活動

### 1．現代教養学部の充実

2009年度に設置した現代教養学部は2012年度に完成年度を迎え、改革の理念に基づいた、広い視野と創造性を有し、現代社会の多様な課題に主体的に取り組める人材を社会に送り出す体制が整います。今後は以下のような施策により、教育内容の一層の充実を図ります。

#### 1) 全学共通カリキュラムの改革

自己点検・評価結果をふまえ、2013年度より全学共通カリキュラムを改編します。教育目標を明確にし、初年次教育を強化することにより、本学での学習を完成させるために必要な基礎学力、学習手法を早期に習得させます。また、各科目群や領域間の連関にも注意を払い、体系性あるカリキュラムを構築し、現代社会におけるリベラル・アーツ教育の充実を目指します。

#### 2) 学科カリキュラムの改革

本学は、課題探求力、問題解決力、コミュニケーション能力等を育むために、これまでも学生参加型の少人数教育を行ってまいりました。今後はこれに加え、現代教養学部の自己点検・評価結果、学生の授業満足度調査、社会の要請等の分析を行い、21世紀にふさわしい魅力ある学科づくりを目指して、教員配置の変更も含めた改革を進め、変化に対応してゆきます。

#### 3) コース制度の検討

現代の社会が抱える諸問題に取り組む力や、国際社会で活躍して行くための基礎力の育成を目標に、学科を横断する学際的学習コース制度を検討してまいります。

### 2．入試制度の検討

2012年度に現代教養学部が完成年度を迎えることを契機に、過去4年間の入学試験結果の分析を行い、本学の改革と統合的な入学選抜制度について検討を進めます。

### 3．大学院人間科学研究科博士前期課程の設置

大学院の文学研究科と現代文化研究科両修士課程を統合・再編し、人間文化科学専攻と人間社会科学専攻の2専攻から構成される人間科学研究科博士前期課程を2012年度より設置します。学際的視点からの研究を深め、専攻分野での自立的な研究能力を高めることにより、日本のみならず世界が直面している多様で複雑な課題に対応できる研究者、高度な専門的職業人の育成をはかります。

### 4．大学院科目等履修生制度

2012年度より学部学生が大学院の授業科目を履修できるようにします。学部学生が早

い段階で、高度な学問・研究に触れるとともに大学院生との交流の機会を得ることで、学問への関心、学習意欲を高めることを目的とするものです。

## 5．国際交流

本学学生の留学促進と外国人留学生の受け入れの拡大を図ります。このために留学生の相互受入協定締結大学及び語学研修先を拡大するとともに、国際交流奨学金の充実を検討してまいります。

## 6．Faculty Development（FD）活動

具体的な教育内容・方法の改善に向け、学生による授業評価アンケート、授業評価に関する検討会、シラバス改善、相互の授業参観、教員の学内研修の制度化、新任教員サポート体制の制度化、大学院の授業及び学位論文指導についての検討会等、全学的に広くFD活動に取り組んでいます。2012年度はFD活動についての自己点検・評価を実施します。

## 7．社会貢献

各種公開講座や心理臨床センターの活動を通して、本学は研究成果を社会に還元することに努めております。これに加えて、2011年度は、学外の機関との協働活動を進める一環として、本学所在地である杉並区と区内六高等教育機関との間での「地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする包括協定」に参加しました。また学内にボランティア・ステーションを設置し、学生・教職員の社会貢献活動の支援体制を強化いたしました。今後も、自治体との連携、近隣地域との交流も含め、社会貢献活動を進めてまいります。

## ．教育研究環境の整備

### 1．キャンパス整備

- 1) 学内に、2015年度完成を目指して、2012年度中にその仕様を決定しますが、今の時代にふさわしい設備を整えた学寮を考えています。新寮は教育寮として、学生の自治により運営され、先輩後輩と共同生活を送る中で、個々の学生の成長を図るものです。
- 2) 自然災害対応（「 ．危機管理と対応」をご参照ください）
- 3) 予防保全の考えを取り入れ、施設の安全性・快適性の維持向上を図ります。

### 2．教育設備の整備

2012年度上期に情報処理教室のサーバー・端末コンピューターを一括更新します。高速化と機能の拡大により、学習者にとっての利便性が向上します。

- 1) 学外から安全で簡単に学内ファイルサーバーへのアクセスができるようになります。
- 2) 起動時間を含めた、処理時間が短縮されます。
- 3) 個々の学生が使えるファイル容量が大幅に増加します。

### 3. 奨学金制度の充実

- 1) 東日本大震災被災地（災害救助法適用地域）の志願者に対し、被災状況により、2012年度入学検定料を免除しました。また、同地域からの入学者に対し、入学金・学費の減免措置を講じます。
- 2) 学内奨学金制度を充実させるとともに、学外奨学金の受給拡大に向けた支援体制を強化します。
- 3) 入学試験の成績優秀者を対象とする、本学初代学長の名を冠した、「新渡戸稲造奨学金」（経済状況を勘案しない育英型奨学金）の授与対象を拡大します。

### 4. 自己点検・評価と教育の質保証

自己点検・評価及び認証評価の結果に基づき、教育、大学運営の改善を進めます。また、第三者評価、相互評価等により「教育の質保証」を図るとともに、その結果を公開してまいります。

2012年度は、全学共通カリキュラムに続き、各学科の自己点検・評価を実施します。FD活動についても、自己点検・評価を行うとともに、客観性を担保するため、東京女子大学・津田塾大学・日本女子大学の間で三女子大学連携相互評価を行います。

### . 創立100周年記念事業

本学は2018年に創立100周年を迎えます。これまでの本学の歴史を振り返り、今後の発展の礎を築くべく、「創立100周年記念事業計画委員会」を設立し、100年史の編纂、記念募金の募集、記念事業の計画を進めてまいります。具体的内容としては教育環境の整備、国際交流の推進、在学生・卒業生のキャリア形成等に関して検討を進めてまいります。

### . 危機管理と対応

#### 1. 大規模自然災害への対応

災害発生に備え、2012年度は以下の施策を行います。

- 1) 災害発生時の大規模停電に備えて、指定避難場所とした施設及び集中管理施設に自家発電設備を整えます。
- 2) 使いやすく、聞き取り易い設備という視点で、非常用放送設備の改善を行います。
- 3) 災害発生時に必要となる資材・備品の備蓄を充実させます。
- 4) 本年度も全学的な避難訓練を実施し、災害発生時にスムーズな対応ができるようにします。また、避難訓練のレビューに基づき危機管理マニュアルを改訂します。
- 5) 東日本大震災に伴う原子力発電所の事故を受けて、本学では安全確認のため学内の複数

個所において放射線量を毎日独自に計測しております。2012年度もこの計測を継続してまいります。

## 2. キャンパス内の安全性向上

本学構内への入退場については常時校門に警備員を配置するとともに、夜間は閉門をし、また警備員が定期的に校内を巡回する等、安全には運営上十分な配慮をしております。また、キャンパス内の植栽整備、施設改善にあたって安全面からの考慮を加え、より安心できるキャンパスを実現してまいります。

## . 経営基盤の強化

厳しくまた激変する社会にあって、その変化に対応し、社会の要請にこたえる大学であり続けるために、マネジメント体制を強化し、迅速な意思決定により、長期的な展望に基づいた経営施策を実行してまいります。2012年度も教育・研究環境の向上に必要な投資を継続して行う一方、経費の削減をはかるとともに、将来の投資に向けた引当金を組み入れる等、健全で安定した財政基盤の構築に努めます。

## . その他

### 1. 寄附の充実

奨学金、教育施設・教育研究経費の充実のため、本学への寄附金に対する所得控除や税額控除制度についてご案内をし、従来からご支援をいただいている維持協力会を始め、広く寄附を募ってまいります。

### 2. 広報

本学の教育理念、教育・研究の実績、学生の活動をより多くの皆様に知っていただくために、ホームページを充実させるとともに、教職員による高校訪問、地域交流等の場での情報発信を積極的に行います。

### 3. 同窓会・卒業生との連携強化

同窓会との協力体制を強化します。2011年度に実施した卒業生教員との懇談会を今後も継続するとともに、毎年行われております園遊会等同窓会主催行事に協力してまいります。また、個人情報保護を前提に、同窓会との間で卒業生の進路情報を蓄積・集約し、卒業生間のネットワーク作りに協力して取り組みます。

以 上